

NEWS RELEASE

令和5年11月29日

お客さまへ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

新事業・サービス創出に向けた 「サステナビリティ新事業プロジェクト研究」の開講について

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）は、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学（本部：東京都港区、学長：田中 里沙）と地域の持続可能な未来を共創することを目的に、事業構想に必要な知識、スキル習得を目指す「サステナビリティ新事業プロジェクト研究」（以下、「本プロジェクト研究」といいます）を開講しますのでお知らせいたします。

当行は令和5年4月より第11次中期経営計画をスタートし、「徹底した地域への信用創造」と「既存の金融の枠組みを超えた新しい事業領域への挑戦」により、グループ一体となり地域の持続的発展に貢献することを目指しております。そのようなビジョンを実現する上では、経営層をはじめ全役職員が一体となり変革を推し進める必要があります。本プロジェクト研究は人的資本投資を強化するものです。併せて、本プロジェクト研究を起点として、当行は「失敗を恐れずに取り組むチャレンジ精神」や「柔軟な発想」、「素早い対応」を後押しする組織風土の醸成を図ってまいります。

当行は本プロジェクト研究を通して地域への新たな価値提供を実現することで、地域社会や地域のお客様などステークホルダーの持続的発展に貢献してまいります。

記

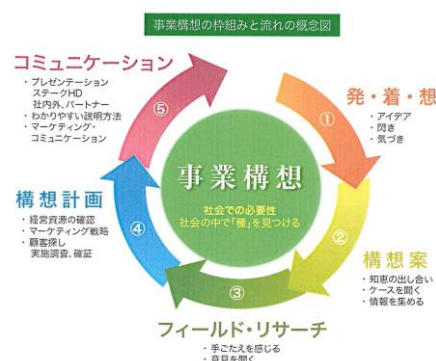
1. 本プロジェクト研究の概要

事業構想のアイデア開発、事業構想案の策定、マーケティング、事業構想計画策定など地域の豊富な資源を活かし、社会課題解決に資する実現性の高いビジネスを本気で生み出す1年間のプログラム。

【実施期間】 令和5年11月～令和6年10月

【実施場所】 栃木銀行 本店・事業構想大学院大学

【参加者】 年代・性別・役職問わず多様な職員12名を選出



NEWS RELEASE

【担当教員】

主担当教員：関 孝則（せき たかのり）



事業構想大学院大学 客員教授
B シャープ・コンサルティング代表

略歴：

新しい IT 技術を軸に 30 年以上、研究開発、ビジネス開発、マーケティング、コンサルティングなど、多岐にわたる役割のリーダーシップや組織づくりをし、さらにビジネススクールで社会人向けに技術経営の教鞭をとってきた。

日本アイ・ビー・エムにて技術理事(平成 13 年)。コラボレーション技術やグリッドコンピューティングなどを中心に担当。米国本社技術戦略スタッフ、メインフレーム研究開発、競合企業の著作権侵害調査リード、買収製品を核としたサービスビジネス立ち上げ、製品 SE 本部長などの経験を持つ。

セールスフォース・ドットコムにて常務執行役員(平成 28 年)。IoT など最新技術を軸にしたビジネス開発を担当。のちに NYSE に上場し Salesforce.com に買収される Slack では、お客様役員への経営視点でのご進講をするエグゼクティブ・パートナーを担当。

東京理科大学の社会人大学院にて教授(平成 29 年)。経営学研究科において、デジタルでの市場変化と変革、サービス化する市場、グローバル化での経営と組織、それらに伴う新しいマネジメントやリーダーシップなど、技術経営(MOT)の教鞭をとる。国立長岡技術科学大学、工学修士(昭和 60 年)。令和 5 年 9 月より現職。

監修：渡邊 信彦（わたなべ のぶひこ）



事業構想大学院大学 教授
(株)Psychic VR Lab 取締役 C00

略歴：

大手 SIer にて金融機関のデジタル戦略を担当、平成 18 年執行役員、平成 23 年オープンイノベーション研究所所長を歴任。その後、起業イグジットを経て、Psychic VR Lab の設立に参画。平成 29 年 2 月取締役 C00。平成 27 年度より事業構想大学院大学の教員を務めるほか、各地の地域創生プロジェクトにも参画。事業構想研究所：各プロジェクト研究担当

NEWS RELEASE

2. 事業構想大学院大学について

文部科学大臣の認可を得て、平成24年4月に開学した事業構想と構想計画を構築・実践する社会人向け大学院。事業の根本からアイデアを発想し、理想となる構想を考え、構想計画を構築していくことを対象とした多様なカリキュラムを提供する。これまでに572名の修了生（事業構想修士）と2,400名以上の研究員を輩出し、数多くのイノベーションとなる新事業や、企業内起業、地域での起業が生み出されている。



以 上